



ボランティア顕彰式
1個人6団体を表彰
芳賀教育文化振興会

八幡東

公益財団法人・芳賀教育文化振興会(八幡東区大蔵)は12日、同区大谷の大谷会館で、第19回北九州ボランティア顕彰式と教育・文化・スポーツ助成金贈呈式を開いた。写真。ボランティア1個人・6団体が表彰を受け、16団体が助成金を贈られた。

一さん。歯科技工士の経験を生かし、高齢者施設で入れ歯の洗浄活動をしている。「自分のためと思い、少しでも長く続けたい」と話した。

表彰された団体は、日本語話室(小倉北区)、国際交流村にほんこ教室(八幡東区)、ラベンダー(同)、製鉄記念八幡病院病院ボランティア(同)、梅の里むつみ会(門司区)、おはなシアリス(小倉南区)。

(江田一久)

お母さん



芳賀教育文化振興会 顕彰式と助成金贈呈式



ボランティア活動や教育文化活動をたたえた芳賀教育文化振興会の顕彰式・助成金贈呈式

北九州市内でボランティア活動や教育文化活動に取り組む個人・団体を支援する公益財団法人芳賀教育文化振興会(芳賀区壽理理事長)の今年度の顕彰式と助成金贈呈式が八幡東区の大谷会館であった。ボランティアで顕彰されたのは、高齢者施設で入れ歯の洗浄活動をする八幡東区の増田智一さん(72)ほか6団体、助成金の対象はサッカーJ2のギラヴァンツ北九州(横手敏夫社長)など16団体。式では、顕彰委員会の上田一壽委員長が「選考では『まちづくりに』など新しい分野に着目した」と選考理由を説明。芳賀理事長は「この事業がボランティアの皆さんの励みになれば」と語った。助成金対象となった「黒崎まちの合唱部」(八幡西区)の武智充部長は「コーラス祭などで人を黒崎に呼び込みたい」と話した。

【久松圭】